

# 浜名湖東岸のレプトスピラについて

## 硝子体混濁患者の血清免疫学的検査

金沢大学医学部眼科学教室(主任 倉知教授)

専攻生 荒川 義雄

(昭和31年12月20日受付)

## Leptospirosis on the East Coast of Lake Hamana Immunologic Studies on the Serum of Patients with Vitreous Opacities

Yoshio Arakawa

*Department of Ophthalmology, School of Medicine, Kanazawa University  
(Director : Prof. Dr. Y. Kurachi)*

(倉知教授就任15周年祝賀論文)

### 緒 言

浜名湖東岸地域には、古くから俗に“満洲風邪”と呼ばれ、主として9月から12月にかけて、突然悪感戦慄を以て発熱し、体温が39度乃至40度以上に達し、頑固な頭痛、腰痛、筋痛を訴え、淋巴腺特に股腺が著しく腫脹して圧痛があり、時には胃腸症状を起し、約2週間して解熱し、その後約1カ月歩行不能、所謂腰ぬけの状態を起し、時には毛髪が脱落したり、頭重が長

く残っている地方性熱病がある。これの病因に関しては未だ究明されていないが、私は飛蚊症を訴えて来た患者の硝子体混濁に一種特有な混濁があるのに気が付き、成因に関し疑義を抱き、免疫血清学的に調べたところ、黄疸出血症レプトスピラ並びに秋季レプトスピラ A, B, 及び C 型の各種を分離したのでここに報告する、

### 実 験 方 法

眼病を訴え私(自宅開業)を訪ねて来た患者中、問診にて既往歴中地方性熱性病にかかったことのある者、並びに既往歴はないが硝子体混濁のある者を被検者として選び、その血清を分離し、抗原として国立予防衛生研究所から静岡県衛生研究所を通じて分与された黄疸出血症レプトスピラ及び秋季レプトスピラ A, B, C 型の4株を用いて、北岡・井上<sup>3)</sup>のレプトスピラの肉眼的凝集反応の術式により判定した。

成績は表の通りである。即ち、総数43例中24例レプトスピラに陽性、3例疑陽性で、その中黄疸出血症レプトスピラは1例陽性、秋季レプトスピラ A 型は14例陽性、2例疑陽性、B 型は9例陽性、C 型は1例陽性であった。なお、1例には秋季レプトスピラ A 及び B 型が共に陽性に現われた。また、町村別分布は図の通りで、伊佐見村に最も多く、雄踏町宇布見部落は1例も陽性に出なかつた。

レプトスピラの血清免疫学的検査成績（自昭和28年1月至昭和29年12月）

住所 町村名	患者氏名	年齢	性	職業	熱性疾患既往歴	初診年月日	眼科臨床診断	血清免疫学的診断*			備考	
								W	A	B C		
南庄内村	内山 田○き○	65	♀	農	29-1-3から10日間発熱	29-9-21	右眼硝子体混濁	-	-	+	-	
	北庄内村	白州 伊○み○	21	♀	〃	28-2-10から1週間発熱	28-8-9	両眼硝子体混濁	-	-	+	-
伊佐村	佐浜 宮○ふ○	44	♀	〃	28-11-中旬から2週間発熱	29-8-16	左眼硝子体混濁	-	+	-	-	
	伊佐地 鈴○辰	49	♂	猟	27-11-10から3週間発熱	28-3-25	両眼硝子体混濁兼左眼虹彩炎	-	+	+	-	
	大人見 石○谷○彦	23	♂	農	29-6-9から12日間発熱	29-8-17	左眼硝子体混濁両眼虹彩炎	-	-	+	-	
	古人見 古○さ○ゑ	29	♀	〃	27-1-中旬及び28-1-2から共に2週間発熱	28-3-28	両眼硝子体混濁兼虹彩炎	-	+	+	+	混合感染
	〃 古○伝○郎	30	♂	〃	28-9-10から2週間発熱	28-10-18	両眼硝子体混濁兼虹彩炎、網膜出血	+	-	-	-	
	〃 鈴○ふ○	43	♀	〃	28-8-7から1週間発熱	28-10-17	右眼虹彩炎	-	+	-	-	
	〃 古○よ○子	29	♀	〃	なし	29-3-13	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 古○か○	69	♀	〃	29-8-3から3週間発熱	29-9-25	左眼硝子体混濁	-	-	-	+	
	〃 古○さ○	58	♀	〃	28-9-下旬から2週間発熱	29-8-4	右眼硝子体混濁	-	-	+	-	
	〃 古○馨	24	♂	〃	28-6-5から2週間発熱	28-10-2	左眼硝子体混濁兼虹彩炎	+	-	-	-	
雄踏	山崎 豊○ち○子	26	♀	〃	27-10-20から10日間発熱	28-9-20	右眼硝子体混濁兼虹彩炎	-	+	+	-	
	〃 宮○い○	56	♀	〃	28-2-3から1カ月発熱	28-4-6	右眼硝子体混濁兼網膜出血	-	-	+	-	
	〃 神○好○	65	♂	〃	27-10-下旬から1週間発熱	29-1-25	左眼硝子体混濁兼網膜出血	-	-	+	-	
	〃 加○の○	62	♀	〃	29-3-上旬から1週間発熱	29-7-9	右眼虹彩炎	-	-	-	-	
	〃 木○万○	50	♂	機業	29-8-2から1週間発熱	29-8-29	左眼硝子体混濁兼網膜出血	-	+	-	-	
	〃 加○か○	68	♀	農	なし	29-8-17	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 水○花○	52	♂	〃	28-10-20から2週間発熱	26-6-2	左眼硝子体混濁	-	+	-	-	
町	宇布見 鈴○兼○	26	♂	鉄道員	28-10-15から5日間発熱	28-12-4	右眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 山○左○	63	♀	農	なし	29-9-2	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 加○照○	57	♂	漁	28-6-5から10日間発熱	29-1-10	右眼虹彩炎	-	-	-	-	
	〃 宮○清○	41	♂	農	なし	29-1-8	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 山○兼○	72	♂	〃	〃	29-9-8	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 山○い○	63	♀	〃	〃	28-7-17	右眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 中○き○	64	♀	〃	〃	29-1-15	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
	〃 坂○鈴○	27	♀	商	29-2-4から1週間発熱	29-5-6	左眼硝子体混濁	-	-	-	-	
大久保	中○き○ゑ	35	♀	農	28-9-8から3週間発熱	29-6-2	右眼硝子体混濁兼虹彩炎	-	+	+	-	
	〃 横○き○	82	♀	〃	29-7-1から1週間発熱	29-10-19	右眼硝子体混濁	-	-	-	-	

神 久 呂 村	大久保	土○ま○	50♀	農	なし	29-12-18	右眼硝子体混濁	-	+	-	-
	〃	和○田○と	66♀	〃	29-2-中旬5日間発熱	29-6-7	両眼硝子体混濁兼虹彩炎	-	-	-	-
	〃	和○田○つ	70♀	〃	29-6-10から2週間発熱	29-7-2	両眼硝子体混濁左眼虹彩炎	-	-	+	+
	〃	神○せ○	31♀	〃	28-2-7から3週間発熱	28-8-24	両眼硝子体混濁	-	+	+	-
	〃	和○田○隆	30♂	〃	28-10-8から5日間発熱	28-1-12	右眼硝子体混濁兼虹彩毛様体炎	-	-	+	+
	〃	和○田○蔵	64♂	〃	28-8-17から10日間発熱	28-8-31	左眼硝子体混濁	-	-	-	-
	志都呂	正○よ○を	73♀	無	28-9-27から3週間発熱	29-3-8	左眼硝子体混濁	-	+	+	-
	〃	辻○と○	69♀	農	27-11-2から6週間発熱	28-4-24	左眼硝子体混濁	-	+	-	-
	〃	影○み○	48♀	〃	29-1-20から1週間発熱	29-2-2	左眼虹彩炎	-	+	-	-
入野村	入野	松○竹○	23♂	工員	24-9下旬から2週間発熱	28-11-4	左眼虹彩炎	-	+	-	-
篠原村	篠原	横○は○	57♀	農	28-8-14から10日間発熱	29-9-29	左眼硝子体混濁	-	+	-	-
	〃	鈴○乙○	70♂	〃	28-9-下旬4日間発熱	29-2-7	左眼硝子体混濁	-	+	-	-
	〃	鈴○さ○	62♀	〃	28-10-中旬10日間発熱	29-6-2	左眼硝子体混濁	-	+	-	-

\* W : 黄疸出血症レプトスピラ

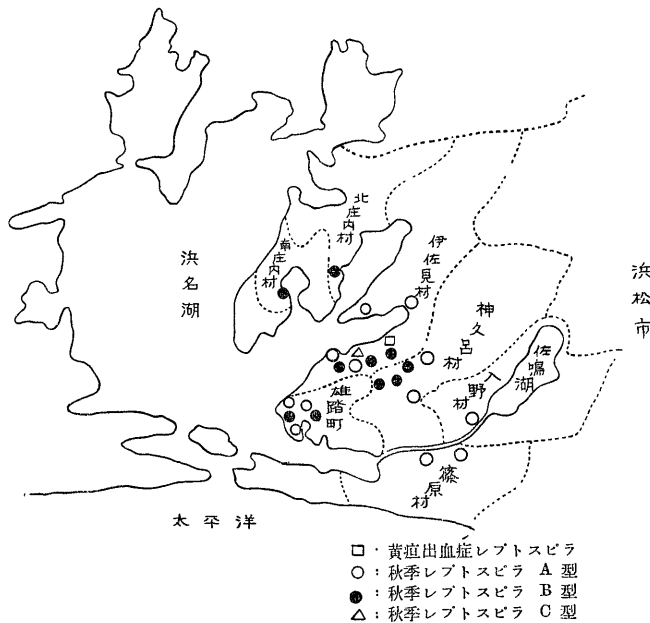
B : 秋季レプトスピラB型

A : 秋季レプトスピラA型

C : 秋季レプトスピラC型

### 総括並びに考按

浜名湖東岸におけるレプトスピラの分布図



(但し、昭和29年12月現在の市町村分布による)

静岡県には黄疸出血症レプトスピラ病の他に、古くから志太郡及び榛原郡地方では秋疫と呼ばれる熱性地方病があり、また、天竜川東岸の磐田郡地方には用水病といわれる熱性疾患がある。前者は免疫学的に神品・塩沢・北山<sup>4)</sup>により秋季レプトスピラAまたはB型であり、後者は塩沢・久保<sup>5)</sup>により秋季レプトスピラA及びB型の外にC型もあることが証明された。

浜名湖東岸にも俗に“満洲風邪”と呼ばれる熱性病が秋季に流行し、未だその病因について報告がなされていないが、たまたま硝子体混濁の患者の血清を調べたところ、レプトスピラであることが判つたので、昭和28年1月から昭和29年12月に至る2カ年間硝子体混濁等の疑しい眼症を起して来た患者の血清を免疫学的に検査すると、43例中24例に黄疸出血症レプトスピラ及び秋季レプトスピラA、B、C型の4種を証明することが出来た。

レプトスピラは元来河川流域の湿潤な水田耕地の沖積層に多いのであるが、浜名湖は湖といつても実は潟で塩水であるが、その東岸地帯には干拓地が多く、しかも佐鳴湖からの水が流入するので潮流も緩慢で、一

般に土地が湿潤であるためにレプトスピラの繁殖に適し、これら熱性病が流行するものと推考される。その中でも伊佐見村に最も多くレプトスピラの陽性率をみたのは、同村には最も干拓地が多く、湖岸が沼地でその上下水施設も殆んど無く衛生状況が悪いためと思われる。一方雄踏町宇布見部落は、同町の山崎部落がレプトスピラ陽性であるのに反して陰性であつたのは、附近の町村中最も下水が完備し、衛生環境が良いためであろう。また、レプトスピラ病は戸外労働者に多いといわれているが、私の検査成績でも1、2を除き殆んど農を生業とする者であつたが、これらの人々は湖岸の湿潤な水田に入る機会が多いため、この熱性病に罹り易いためと思われる。

秋疫の後発眼症については雨宮<sup>1), 2)</sup>の詳しい報告があるが、浜名湖東岸の所謂満洲風邪も秋疫と同様原病罹患後に、しばしば後発眼症として硝子体混濁、虹彩毛様体炎、時には網膜出血等の眼症を起して来ることが判つた。ただ秋疫と異なるのは病的に僅か1例ではあるが、秋季レプトスピラC型が発見されたことである。

## 結 語

私は浜名湖東岸の所謂満洲風邪の病因に関し、昭和28年1月から昭和29年12月に至る2カ年間硝子体混濁等の眼症を起して来た患者の血清を免疫学的に検査したところ、43例中24例にレプトスピラ抗体が陽性に現われ、その中14例は秋季レプトスピラA型、9例はB

型(内1例はA型と混合感染であつた)、1例は黄疸出血症レプトスピラ、他の1例は秋季レプトスピラC型であることが判明した。

擧筆に当り、恩師倉知教授及び谷教授の御指導並びに御校閲を深謝する。

## 文 献

- 1) 雨宮：日眼，39，10，昭10。      2) 雨宮：日眼，45，2，昭16。  
3) 北岡・井上：日本細菌学雑誌，6，4，昭26。

- 神品・塩沢・北山：東京医学会雑誌，38，4，大13。  
5) 塩沢・久保：東京医事新誌，3097，昭13。